

整備効果

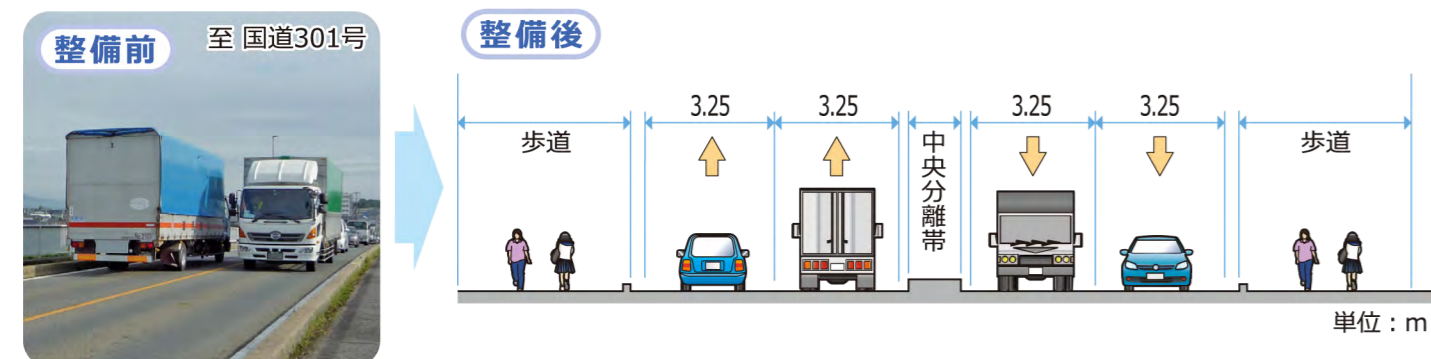
(1) 渋滞の解消

● 竜宮橋周辺には企業が立地しており、通勤時には多くの車が通行するため、渋滞が発生しています。竜宮橋が整備されると、車線数が4車線となるため、渋滞が解消され、所要時間の短縮が期待されます。



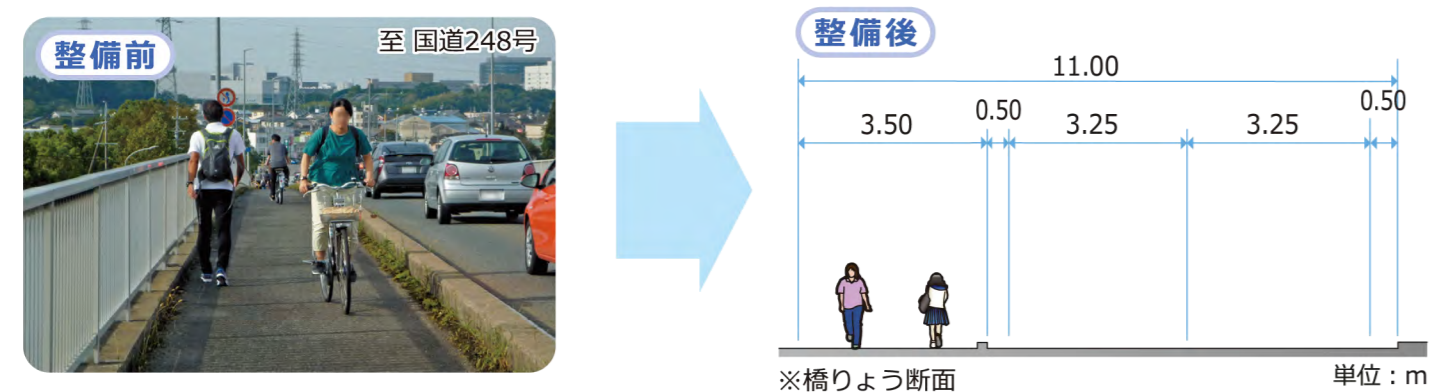
(2) 交通事故の削減

● 竜宮橋周辺には企業などが立地しており、大型車の利用があるものの、現状では道路幅が狭く、大型車同士のすれ違い幅が狭い状況です。竜宮橋が整備されると、対面通行から中央分離帯で分離された通行になり、さらに1車線あたりの車道幅が3.0mから3.25mに広がるため正面衝突事故や接触事故のリスクが低減されます。



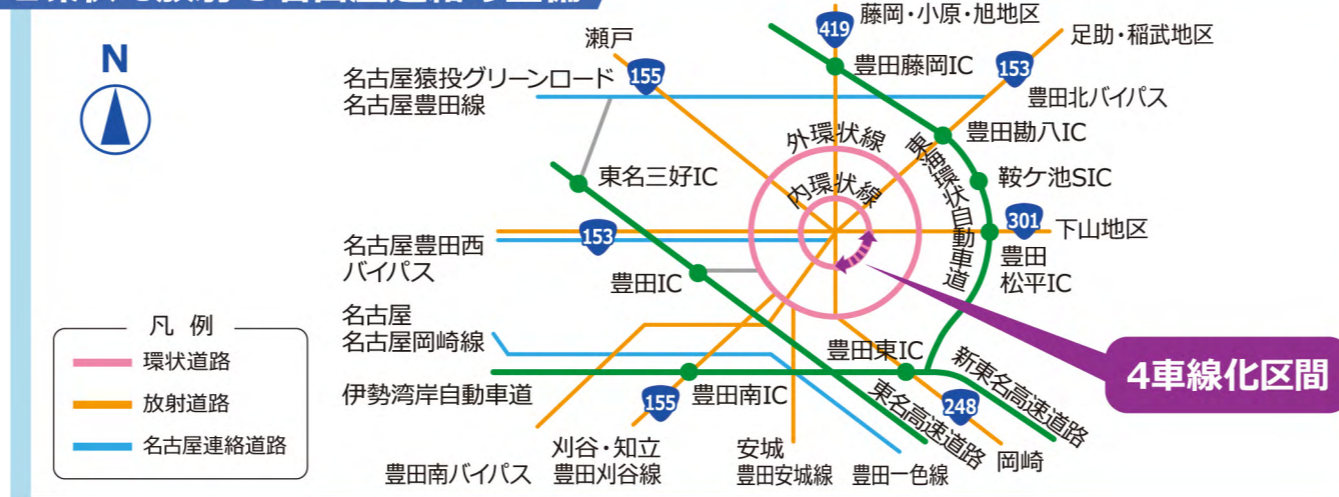
(3) 通行しやすい歩行空間の確保

● 竜宮橋周辺は高校や企業などが立地しており、通学者や通勤者が竜宮橋を利用しているものの、歩道幅が狭くすれ違い幅が狭い状況です。竜宮橋が整備されると、歩道幅が2.5mから3.5mに広がるため、安全に通行できる歩行空間の確保が期待されます。



事業箇所

2環状 8放射 3名古屋連絡の整備



位置図



豊田市 建設部 街路課
〒471-8501 愛知県豊田市西町3丁目60番地 電話：(0565) 34-6651
E-mail: gairo@city.toyota.aichi.jp

4車線化事業 竜宮橋

都市計画道路 高橋細谷線



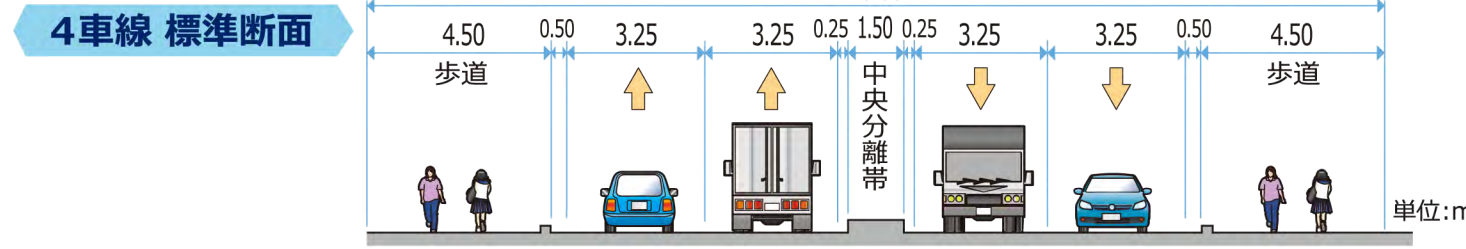
Ryugu Bridge

豊田市

4車線化の事業の目的

路線の概要 ●(都)高橋細谷線は、豊田市における広域交流、都市間交流を支える重要な道路で、内環状道路の一部を形成する都市計画道路です。また、豊田市が指定する緊急輸送道路に位置付けられています。

目的 ●(都)高橋細谷線の国道301号から国道248号に至る延長2.24km区間を現在の2車線道路から4車線化し、渋滞解消を図るとともに、交通の分散など環状道路としての機能強化や周辺の主要産業施設へのアクセス性の向上を図ります。



現状と課題

●現在の交通量は、野見町地内で1万4千台/日以上あり、特に朝夕時には慢性的な渋滞が発生しています。



●現在の「竜宮橋」は、昭和53年に完成。架橋から古く老朽化しています。



竜宮橋の事業スケジュール

工区名	項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
新設橋 (Ⅱ期線) 橋りょう新設	A1								
	P1								
	P2								
	P3								
	P4								
	A2								
既設橋 (Ⅰ期線) 耐震補強・ 橋りょう改良	上部工								
	P1								
	P2								
	P3								
	P4								
	P5								
護床・護岸	護床								
	護岸								

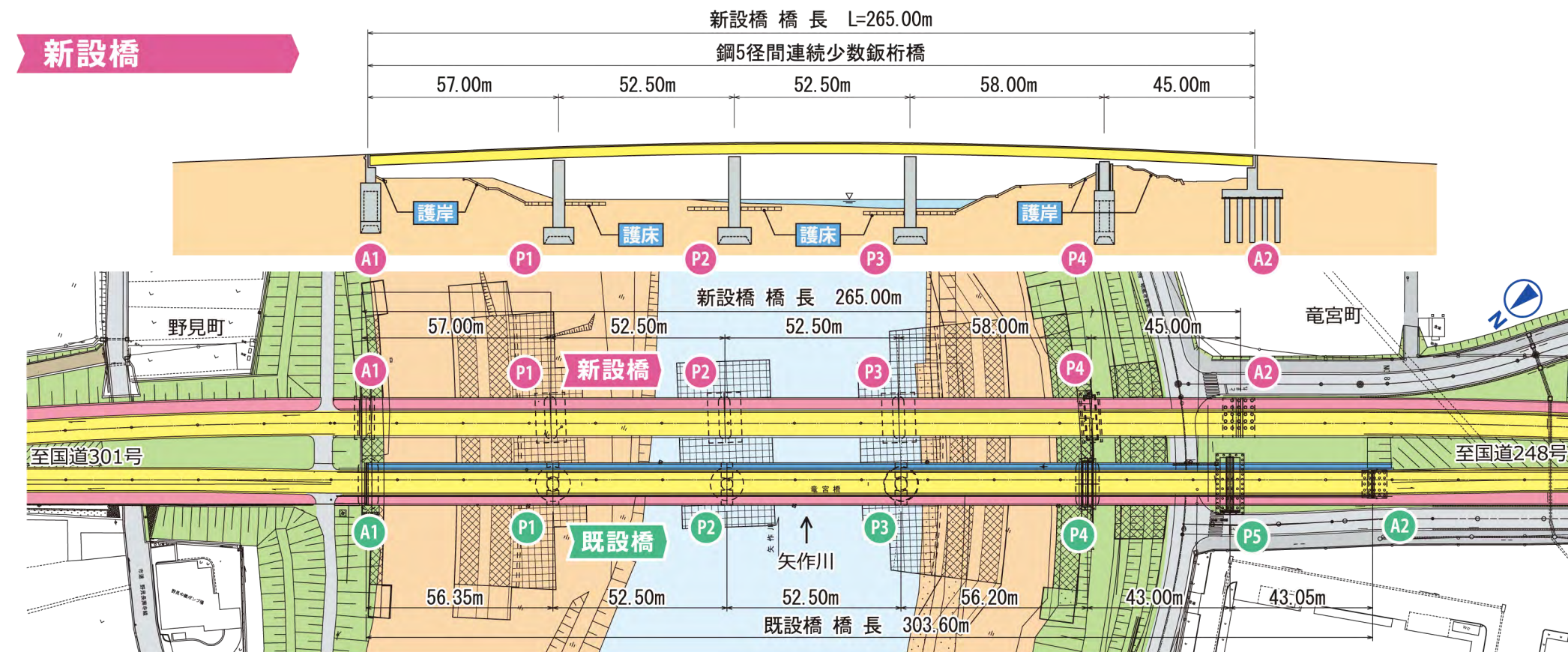
凡例: ■新設橋工事期間 ■既設橋工事期間 ■護床・護岸工事期間

竜宮橋橋りょう工事の概要

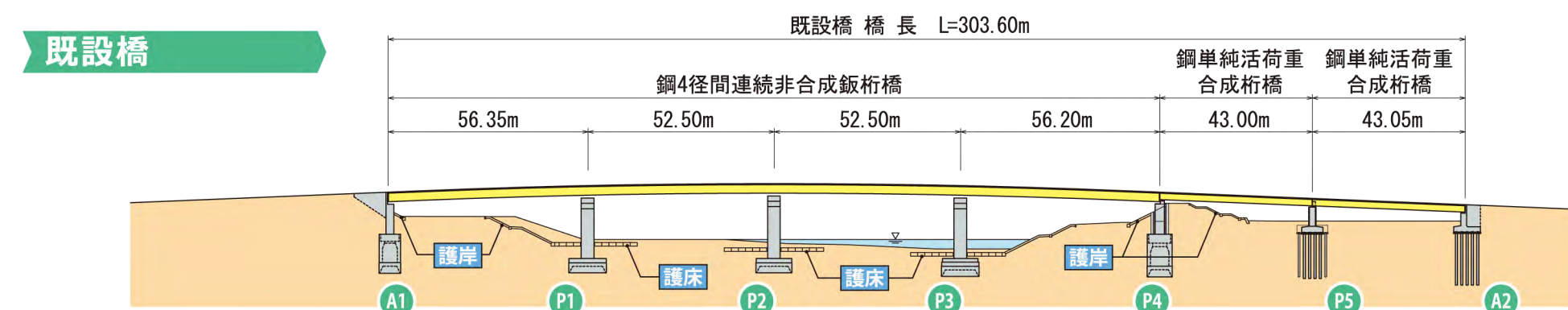
- 2車線の「竜宮橋」の下流側に新しい「橋」を架けることにより、4車線の「竜宮橋」となります。新設橋に、ニューマチックケーソン基礎を採用しています。
- 現在の「竜宮橋」は、耐震化及び老朽化の対策を行い、リニューアルします。

路線名	(都)高橋細谷線	橋りょう名	竜宮橋
道路規格	第4種第1級(設計速度60km/h)	有効幅員	既設橋 12.00m 新設橋 11.00m
交差河川	一級河川矢作川	橋長	既設橋 303.60m 新設橋 265.00m

新設橋

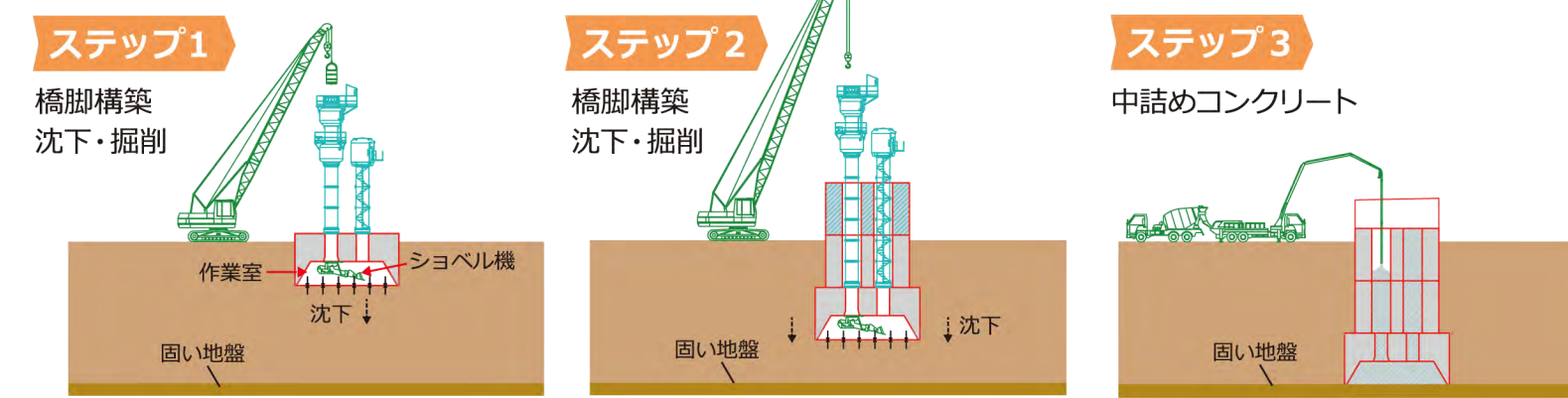


既設橋

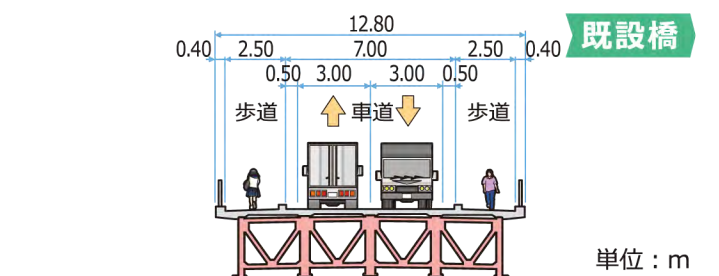


新設橋にニューマチックケーソン基礎を採用

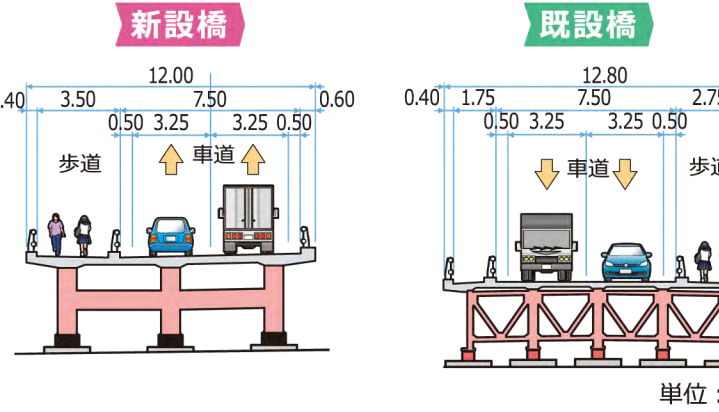
- 橋脚の基礎を支える固い地盤まで、鉄筋コンクリートをつくりながら箱型の基礎を沈めて設置する基礎形式です。
- 圧縮した空気を作業室に送り、地下水の浸入を防ぎながらショベル機を用いて地盤を掘り進めます。
- 沈下時は、最新の計測装置を用いるため、精度の高い工事が可能です。



既設橋整備前(2車線 対面通行)



整備後(4車線 片側2車線分離通行)



既設橋の耐震補強

- 南海トラフ地震のような巨大な地震が発生しても、橋が壊れず、自動車が通行できるよう、強くします。
- 鉄筋コンクリートでできた柱に鋼板を巻くことで、ねばり強い橋にします。
- 鋼板は基礎と一体化することで、より巨大な地震にも耐えられるようになります。

